

# 幕末のサムライは、 なぜ舟の号を好むのか

参加費無料

いわした てつり  
■講師:岩下 哲典

2024年3月30日(土) 14:00~16:00

Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)



山岡 鉄舟 (1836-1888)



高橋 泥舟 (1835-1903)



勝 海舟 (1823-1899)

報告者は、最近「江戸無血開城」に関心を持って研究している。その貢献度を、新政府側は西郷隆盛が最大であり、旧幕府側では山岡鉄舟が「一番槍」、二番手は高橋泥舟、その次が勝海舟と大久保忠寛、その次に和宮・天璋院と考えている。もちろん異論はあると思う。

ところで、研究を進める中で、鉄舟・泥舟・海舟、ほかに田辺(太一)蓮舟や木村(喜毅)芥舟など、「舟」がつく号がなぜか気になっていた。なぜ幕末のサムライは「舟」を好むのか。そもそも、号とは何か、他にも「舟」を号に持つ人物はいるのか。

中間報告的なものだが、会員の皆様と有意義な意見交換できたら幸いである。

■岩下 哲典 (いわした てつり)  
日本海事史学会員

1962年信州「たのめの里」生まれ。青山学院大学大学院文学研究科後期課程単位修得、博士(歴史学)。徳川黎明会学芸員、国立歴史民俗博物館客員助教授、明海大学教授を経て、現在、東洋大学文学部・大学院文学研究科教授。

主な著作『山岡鉄舟・高橋泥舟』『江戸無血開城の史料学』『文明開化』と江戸の残像』『江戸無血開城』『城下町と日本人の心性』『高邁なる幕臣高橋泥舟』『予告されていたペリー来航と幕末情報戦争』『徳川慶喜』『江戸のナポレオン伝説』など。

「英雄たちの選択」「知恵泉」「ザ・プロファイラー」など出演多数。

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。  
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
お申込みいただいた方には3月27日(水)までにご連絡いたします。
- 会員にはメールでご案内をお送りしています。  
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■申込〆切:2024年3月26日(火) 正午(12:00)

■申込先:kaijishi.web@gmail.com (担当:大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日:3月30日(土)・4月20日(土)・5月25日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文科学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回)／総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

